



ホルモン補充療法のあれこれ

ウェルエイジングコーディネーター・看護師 山崎澄恵

女性の心と体の健康を支るために女性ホルモンは大切な役割を担っています。40歳を過ぎるころから卵巣の機能が低下し始め、女性ホルモンは減少します。これに伴って生理の周期が長くなったり、ときには短期間で次の出血がおこったり、月経の量も変化します。

「更年期」とは女性ホルモンを分泌する卵巣の働きが衰えて停止し、女性ホルモンが欠乏した状態で体が安定するまでの期間を指します。具体的には閉経を挟んでその前後10年くらいの時期で、心身ともに様々な変化が見られるようになります。多くの女性に何らかの形で起こる不調を「更年期症状」といい、その中でも日常生活に支障がある場合を「更年期障害」と呼び治療を必要とします。

更年期に起こる症状や障害を予防・治療するための代表的な治療法として、足りなくなつた女性ホルモンを飲み薬・貼り薬・塗り薬で補充する治療法(HRT)があります。HRTによって、自律神経失調のために起こっていた様々な症状は軽くなります。特にホットフラッシュや冷え、動悸など血管運動系の不調は改善されやすいと言われています。また、皮膚や粘膜の乾燥や萎縮・骨粗しょう症の予防・コレス



春のトラブル肌の対処法

「リリッシュ」エスティシャン 須藤直美

お花がキレイな季節になりました。この時期になると花粉症や乾燥でかゆくなる、カサつくなどお肌のトラブルを感じている方も多いと思います。温かい季節にかわっていく中、体そのものが外部環境の変化に対応しようと、新陳代謝が活発になり、ホルモン分泌も盛んになります。お肌の皮脂や汗の分泌も増えます。体調は緊張状態にあり、お肌も大変敏感になるのがこの季節ですね。お肌が本来持っている「バリア機能」が弱っているうえに、花粉や紫外線、空気の乾燥といったお肌の大敵が！スキンケアには細心の注意が必要です。

今回はそんな春のトラブル肌のお手入れ法をご紹介します。

【まずは正しい洗顔】

- ①クレンジング剤は、肌に対して自然な成分でつくられた製品をおすすめします。クレンジング剤を決して擦らずに、メイクアップ料など肌の付着物にやさしく馴染ませ、洗い流します。
- ②洗顔剤をよく泡立てて洗い流します。ぬるま湯を用い、低刺激の洗顔料で、決して擦らずに泡で優しく汚れを落とすのがポイントです。
- ③十分にすすぎ、やわらかいタオルなどで、押さえるようにふき取り、すぐに化粧水で水分補給とお肌を整え、美容液、乳液、クリームなどで保湿対策をしましょう。



衣替えに役立つサシェの作り方

Pureleaf アロマセラピーインストラクター 橋本こずえ

暖かくなり外出する機会が増えました。服装も冬から春へと衣替えです。今回は、衣替えに役立ち簡単に手作りできる「サシェ」をご紹介します。

「サシェ」とは香り袋のこと、ドライハーブなどを用いますが、重曹とお茶パックで気軽に作れるものを考えてみました。

材料)

- ・重曹 大さじ3
- ・お茶用パック 1枚
- ・好みの精油 10滴程度



【佐藤病院関連施設】

アロマセラピートリートメントサロン「Pureleaf」は別棟3Fです！

TEL 027-327-9503

<http://www.pure-leaf.com>

おすすめ精油)

- ・パチュリー 防虫作用があるのでタンスなどに
- ・レモングラス 防虫作用とデオドラント作用があります
- ・ラベンダー さわやかな香りで殺菌作用があります
- ・ペパーミント スッキリとした気分にさせてくれます
- ・ローズウッド あまり知られていませんが防虫作用があります

作り方)

- ①ガラス容器などの中へ重曹と精油を混ぜます
- ②お茶用パックに詰めて受け皿などの入れ物に置きます
- ③②をタンス、押入れ、下駄箱などに入れます

※衣類などに直接精油が付かないよう、注意してください

「いつまでも元気でキレイ」なあなたを応援します

佐藤病院 ウェルエイジング外来

TEL 027-322-2243

<http://www.sato-wellaging.jp>

■診療日時 / 月火木土 13:30~16:00(予約制)
※各治療、施術は佐藤病院診療日時に準ります

■HPよりインターネット予約「ウェルエイジング外来」にご予約ください

※佐藤病院初診の方は、お電話にてご予約ください

教えて久保先生！

子宮頸がん予防ワクチンについて

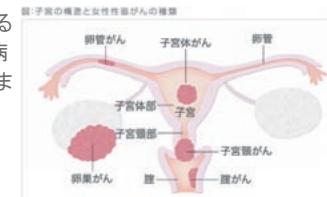


久保祐子医師
産婦人科専門医
ウェルエイジングチーム医
1児の母
皆さまのご質問をお待ちしています！

ていて、日本では2009年12月より一般的な医療機関で、自費になりますが接種できるようになりました。

対象は、10歳～55歳くらいまでの女性。セクシャルディビュー前の接種は特に有効ですから、対象となるお子さんには是非おすすめします。十分な抗体を得るために半年の間に3回（初回・1ヶ月後・6ヶ月後）のワクチン接種が必要で、妊娠中や授乳中の場合は接種できませんので注意してください。
接種料金は1回16,380円（税込）。

※このワクチンは、すでに今感染しているHPVを排除したり、子宮頸部の前がん病変やがん細胞を治す効果はなく、あくまで接種後のHPV感染を防ぐものです。



【子宮頸がん予防ワクチン接種の受け方】

- 1・予約は必要ありません
- 2・フロントにて「子宮頸がん予防ワクチン接種希望」とお申し出ください
- 3・スタッフによる説明と、問診表の記入
- 4・接種
- 5・会計（接種後30分は院内で体調をご確認ください）



新入職員紹介

長島 勇医師



2月から佐藤病院に勤務しています長島勇です。昨年暮れまで31年間、南大町にて長島産婦人科医院を開業しておりました。妊婦健診、分娩、子宮がん検診などに従事していました。しかし息子が米国に、医学研究のため留学し、医院継承の希望がないため閉院した次第です。息子は現在着床の研究を、私は大学時代、流産の大きな原因である染色体異常の研究をしていました。これからは、個人開業医の経験を生かし、心機一転勤務医に専念したいと思っております。ところで毎週日曜日には、高崎市医師会のテニス部のレッスンに参加し、テニスを楽しんでいます。趣味は鉄道模型ですが、ドイツのメルクリン社の製品を集め、主にZゲージですが、HOゲージも迫力あるため収集しています。これからジオラマと言う、模型の景色を作り走らせようと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

総務部 駐車場管理担当 渡部美喜男



- 1・マイブームは？
10kmのマラソン・「ラジオ深夜便」
- 2・宝物は？
ピアノ
- 3・今の職業を選んだ理由は？
当院で生まれた4才。1才の2人の孫を持っているので、子育て支援の一部が出来れば良いと思ったので



連携医紹介 根岸産婦人科小児科医院 院長 根岸 正勝先生

私は昭和44年に群馬大学卒業後、群大産婦人科教室で研修し、昭和51年10月より現在の藤岡総合病院に医長として赴任しました。そして6年後の昭和57年10月より同級生で小児科医の妻と根岸産婦人科小児科医院を開院し“自然分娩、自然育児”をモットーに診療してきました。平成20年10月に分娩の取り扱いを中止するまでの26年間で11,000例余の分娩を取り扱いました。このため妊婦健診と分娩に対し貴重な経験を積むことができました。

趣味はバイオリンと盆栽です。バイオリンは息子が習うついでに私も始めました。平成11年に音楽仲間と藤岡にアマチュアオーケストラ「新みかぼフィルハーモニック」を誕生させ団長に就任。はじめは定期演奏会も年1回でしたが平成18年からは年2回開催しています。団員も60名をこえる大所帯になりました。昨年12月の定演の第2部ではブルックナーの交響曲第4番を演奏しましたが演奏時間70分の大曲で、バイオリンはほぼ弾きっぱなしで大変疲れ体力の衰えを感じました。

現在、産婦人科は午前中のみの診療としています。小児科は午後より娘の伊藤正穂先生が手伝いに来てくれ2人の医師による充実した診療が成されているようです。来年春には産婦人科の息子が常勤で勤務する予定ですので、産婦人科の外来も活性化するのではと期待しています。

根岸産婦人科小児科医院
藤岡市中栗須86
0274-24-1111
左：伊藤正穂先生（小児科）
中央：根岸正勝先生（産婦人科）
右：根岸和子先生（小児科）



☆たかはし君の得々講座☆ ~医事部長による知ってるところ~

高額療養制度 編

健康保険の高額療養制度についてお話しさせていただきます。

長期入院や治療が長引く場合には、医療費の自己負担が高額となります。（当院では、産科の帝王切開・妊娠高血圧症候群・切迫早産や婦人科手術の子宮全摘除・卵巣腫瘍摘出術等）そのため家計の負担軽減を目的に、一定の金額（自己負担限度額）を超えた部分が払い戻される制度です。

この制度を利用するには、保険者に高額療養費請求をしなければならず、退院して直ぐ請求しても、3～4ヶ月の期間を要します。そこで平成19年4月より、入院に係る高額療養費を現物給付化し、医療機関での窓口の支払を自己負担限度額までにとどめることができます。

この制度を利用するには、事前に保険者に健

康保険限度額適用認定申請書を提出し、「健康保険限度額適用認定証」の交付を受け、入院時に医療機関の窓口に認定証と保険証を提出して下さい。ただし、保険外診療費（個室料差額・分娩料・新生児介護料・入院時食事療養費等）は対象になりませんので気をつけてください。詳しくは、相談コーナー又は医事部 高橋までお尋ねください。



ブログのご案内

※佐藤病院公認ブログ「でぱり通信」

<http://blog.livedoor.jp/debari/>



携帯は
こちらから

※副院長ブログ「雲のように」

<http://kumonoyouni.cocolog-nifty.com/>

※最新の不妊治療について紹介し、楽しみながら子づくりすることを考える副院長ブログ「Babyは寝て待て」

<http://kumonoyouni.cocolog-nifty.com/makeababy/>

※赤ちゃんが欲しい女性と医師のメディカル・コミュニケーションサイト「HugeHug」

<http://hugehug.jp/>